

令和3年度 校長より ④

6月は、多くの競技でインターハイ予選が行われました。その中で、6月13日(日)には、ウエイトリフティング競技の予選会も行われ、本校から出場した同好会の2名が、自己ベストを更新して神奈川県枠7名の中に見事に入り、福井県小浜市で行われるインターハイに出場することとなりました。ウエイトリフティング同好会は、施設など決して恵まれた練習環境ではありませんが、与えられた環境を受け入れて毎日のようにコツコツ練習し、ケガなども乗り越えての出場となりました。本大会はコロナで学校関係者は激励に向かうことはできませんが、選手2名の活躍を大いに期待したいと思います。

文化部では、6月12日(土)に演劇部が定期公演会を、また、6月13日(日)には吹奏楽部が定期演奏会を開催しました。昨年度は、緊急事態宣言や臨時休業のため、文化部の発表会などの活動が制限され、いたたまれない思いをしたことと思いますが、今年度は、まん延防止等重点措置期間となったため、感染防止対策の徹底を十分に図った上での開催が可能となり、実施に踏み切りました。当日は、家族や卒業生など、多くの方にご来場いただくことができ、また、開催後でのコロナ感染の報告もなく、無事終了することができました。ご協力いただいた皆様に感謝します。演劇部については文化祭の公演で、吹奏楽部については定期演奏会で私も鑑賞させていただきましたが、生徒の豊かな表情と会場一体となった公演の様子に感銘を受けました。これらの文化部に限らず、その他の文化部も一生懸命に活動していますので、可能な限り、こうした経験ができる機会を作ってあげたいと思います。素晴らしい芸術に触れさせていただいた皆さん、ありがとうございました。

6月18日(金)には、3年生の箱根遠足が行われました。コロナにより、2年生での修学旅行が一旦延期となり、延期となった旅行が中止となり、代替行事として予定していた4月の一泊遠足が中止となる中で、3年生としては最後の機会を捉えて実施に踏み切りました。当日は、芦ノ湖湖畔でのタカラッシュ、小田原ヒルトンホテルでの豪華な昼食のほか、芸人によるサプライズなども行なわれました。残念ながら様々な理由で参加できない生徒もいましたが、ビデオを見たり話を聴くなどして、37期生の高校時代の思い出を皆で共有してほしいと思います。既に3年生は進路実現に向けて動き出しています。自分の自己実現のためにしっかりと頑張ってください。

7月21日(水)には、1学期の終業式が行われました。私からは、1年生の入学式や2、3年生の始業式で話をしたことが、今学期どうであったかの振り返りをさせていただきました。振り返りをして、改めて思ったことは、大船高校の生徒たちは高校生として大変立派だということです。先生や保護者などの支援を受けながら、自分自身をしっかりと成長させています。こうした成長を校長として今後も支援していきたいと思います。

令和3年7月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆